

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 30日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者

住 所 千葉県山武郡横芝光町木戸10110

氏 名 株式会社 畔蒜工務店

代表取締役 畔蒜 義文

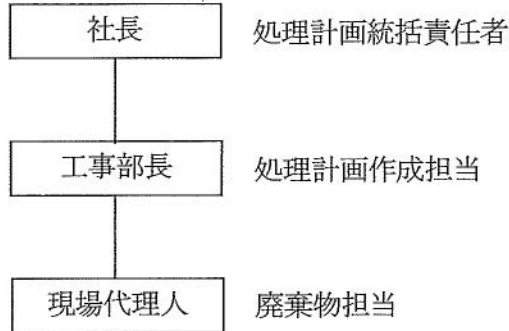
電話番号 0479-84-1221

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 畔蒜工務店
事業場の所在地	千葉県山武郡横芝光町木戸10110
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類：建設業、中分類：総合工事業
② 事業の規模	前年度の元請完成工事高 50億円
③ 従業員数	95人(正社員 84人、常勤関係職員 11人)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">建設作業</div> <div style="margin-right: 10px;">—</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">建設副産物</div> <div style="margin-right: 10px;">—</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 処理委託 (中間処理) (再資源化施設) </div> </div>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	-	-
	排 出 量	-	-
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	-	-
	排 出 量	-	-
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 一定量のある廃棄物（石膏ボード・木くず・紙くず・金属くず） については、分別し中間処理業者へ委託している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物に混入する、木くず・紙くず・金属くずなどを分別し 廃棄物の数量抑制に努める。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	-
	(これまでに実施した取組) これまでに、自社で再生利用を行ったことはない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	-
	(今後実施する予定の取組) 引続き再生利用を行う予定はない		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	-
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	-
(これまでに実施した取組) これまでに、自社で中間処理を行ったことはない。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	-
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	-
(今後実施する予定の取組) 引続き中間処理を行う予定はない。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	-
	(これまでに実施した取組) これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	-
	(今後実施する予定の取組) 引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	-	-
	全処理委託量	-	-
	優良認定処理業者への処理委託量	-	-
	再生利用業者への処理委託量	-	-
	認定熱回収業者への処理委託量	-	-
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	-	-
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	-
	全処理委託量	-
	優良認定処理業者への 処理委託量	-
	再生利用業者への 処理委託量	-
	認定熱回収業者への 処理委託量	-
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	-
	(今後実施する予定の取組)	
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

		【前年度(令和4年度)実績】									1/2
①現状	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	アスファルト/コンクリートくず	がれき類	(石綿含有)がれき類	硝子/コンクリート/陶磁器くず	(石綿含有)硝子/コンクリート/陶磁器くず	廃プラスチック類	汚泥	金属くず	紙くず
		排出量	5704.20t	3306.10t	2756.90t	76.50t	21.50t	9.70t	177.50t	231.10t	2.00t
②計画	【目標】										
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	アスファルト/コンクリートくず	がれき類	(石綿含有)がれき類	硝子/コンクリート/陶磁器くず	(石綿含有)硝子/コンクリート/陶磁器くず	廃プラスチック類	汚泥	金属くず	紙くず
	排出量	5704.00t	3306.00t	2756.00t	76.00t	21.00t	9.70t	177.00t	231.00t	2.00t	20.00t

別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】										2/2
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	建設混合廃棄物	廃アルカリ				計
	排出量	250.60t	27.00t	157.20t	25.70t	2.20t	8.70t				12777.40
	(これまでに実施した取組) 解体工事では、手作業での細かな分別・解体に努め、又一定量の産廃については、混合廃棄物の発生量を抑える為、分別処理を行っている。 資材発注時には、計画的に適正な数量を手配するよう指導し、余剰材の発生抑制に努めた。										
②計画	【目標】										
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	建設混合廃棄物	廃アルカリ				計
	排出量	250.00t	27.00t	125.76t	20.56t	1.76t	8.70t				12736.48t
	(今後実施する予定の取組) 資材発注時には、現状を把握し計画的に余剰材を抑え産業廃棄物の発生量を抑える。現場での一定量の廃棄物については、分別化に努め混合廃棄物の排出量を抑える。										

別紙

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

		【前年度(令和4年度)実績】									2/2
		産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	管理型 混合廃棄物	安定型 混合廃棄物	建設 混合廃棄物	廃アルカリ			計
①現状	全処理委託量	250.60t	27.00t	157.20t	25.70t	2.20t	8.70t				12777.40t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0.00t	0.00t	17.10t	0.00t	0.00t	0.00t				684.40t
	再生利用業者への処 理委託量	250.60t	27.00t	118.00t	13.00t	1.30t	0.00t				11200.30t
	認定熱回収業者への 処理委託量										0.00t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量										0.00t
	(これまでに実施した取組) 廃棄物処理計画時、再資源化施設への処理委託を検討。										

別紙

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

		【目標】									2/2
		産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	管理型 混合廃棄物	安定型 混合廃棄物	建設 混合廃棄物	廃アルカリ			計
②計画	全処理委託量	250.60t	27.00t	157.20t	25.70t	2.20t	8.70t				12773.40t
	優良認定処理業者への 処理委託量	25.06t	2.70t	15.72t	2.57t	0.22t	0.87t				2254.84t
	再生利用業者への処 理委託量	250.60t	27.00t	110.04t	17.99t	1.54t	0.00t				11791.07t
	認定熱回収業者への 処理委託量										0.00t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量										0.00t
	<p>(今後実施する予定の取組) 産業廃棄物の処理については、業者選定時再生利用業者への委託を検討。産業廃棄物の抑制・分別化を強化し、継続して再生利用業者への処理委託量を上げる。</p>										